

## 被爆者健康手帳交付申請書及び申立書の記入上の注意点と記入例

※ 申請書及び申立書はわかる範囲で、できるだけ詳しく記入してください。

ページ	項目	記入上の注意点	記入例		
申請書	9	氏名	氏名を記載し、その横に押印又はサインをしてください。		
		平成年月日 (一番下の行)	申請書を窓口へ提出する日を書いてください。		
申 立 書	10	1-(1)当時の住所 又は疎開先	疎開していた場合は、疎開先の住所を書いてください。		
	11	2-(1) 直接被爆者 又は海上被爆者の 場合	イ	原爆が落ちた時に、あなたがしていたことを書いてください。	朝食を済ませて、皆が出かけた後、自宅の台所で食器を洗っていた。
			ウ	現在死亡している人も含めて書いてください。	
			オ	自分のことや周囲の様子を書いてください。	ピカッと光り、爆風で割れた窓ガラスで左手を負傷した。母と長女は、幸い奥の部屋にいたのでケガはなかった。建具は全部こわれ、天井は半分ぐらい傾きひどいものだった。
			カ	原子爆弾が落ちた後のその日の行動を順を追って書いてください。	すぐ母と長女と一緒に大芝の竹やぶに避難した。その後、三滝の山へ避難した。市内のあちらこちらから逃げってきた人々でごった返していた。山の中で親子3人じっとしていた。ヤケドをした人など多数いて悲惨な状況だった。
		キ	原子爆弾が落ちた翌日、(8月7日)から8月20日まで(長崎被爆については8月10日から8月23日まで)の行動を順を追って書いてください。	翌日、朝早く山を降り自宅に帰った。家は壊れていたが住めない状態ではなかった。夫(太郎)が勤め先(南観音町、A会社)から帰らないので心配だったが、とにかく建具や天井の補修をしようと母と2人で始めようとした時、ケガもなく元気な姿で夫が帰ってきた。それから夫も一緒に家を補修して、そのまま、そこに住んだ。	
	12	2-(2) 入 市 被 爆 者 の 場 合	初	入市先(目的地)が二つ以上ある場合は、それぞれについて書いてください。	鶴見町(鶴見橋の西詰付近) 千田町(自宅)
	め		入市目的が二つ以上ある場合は、それぞれ書いてください。	長男・太郎が、鶴見橋付近に〇〇中学校から建物疎開作業に行ったまま帰って来ないので、安否確認のため。また、自宅の様子を確認するため。	
	て		結果はどうであったか経過もあわせて書いてください。	鶴見町に来てみると周囲は全焼していて、長男の姿はどこにも見当らず、市役所周辺や日赤病院の救護所を捜したがわからなかった。その後、千田町の自宅にも行ったが焼けて何もなくなっていたので、あきらめて疎開先に帰った。	
	入		出発地から目的地までの経路について旧町名、目標物、交通手段を順に書いてください。往路と復路が違う場合は、復路も書いてください。	歩 船 歩 歩 歩 歩 疎開先→蒲刈港→宇品港→専売局→比治山橋→鶴見橋→国泰寺 歩 歩 歩 船 歩 →日赤病院→千田町→宇品港→蒲刈港→疎開先	
	市		入市した時の様子で印象に残っていることを書いてください。	一面の焼け野原だった。異様な臭いがした。道は整理されておらず、電車の線路を目印に歩いた。橋の上から川の中を見るとまだ死体が浮かんでいた。	
	に		現在死亡している人も含めて書いてください。		
	13	場 合	ク	現在死亡している人も含めて書いてください。	
	て		ケ	現在死亡している人も含めて書いてください。	
外 初 め て 入 市 し た 目 以 上	ア		1又は2のいずれかに必ず〇をしてください。1に〇をした場合はイ～エは記入不要です。	② 入市した(日付:8月18日、20日、 日 )	
	イ		入市先、道順、入市目的をそれぞれ書いてください。	終戦になったので、自宅の焼け跡の後片付けのために、初めて入市した時と同じ道順で千田町まで行った。	
	ウ		現在死亡している人も含めて書いてください。		
エ	現在死亡している人も含めて書いてください。				
14	2-(3) 等救 護事 者死 の体 場処 合理	エ	その期間に従事したいきさつを書いてください。また、指示者があれば、指示者の氏名等についても書いてください。	8月6日の夕方、婦人会長の〇〇から指示があり、翌日から被災者が病院に移されるまで、〇〇国民学校で救護活動をした。	
キ		現在死亡している人も含めて書いてください。			
ク		救護等をした時の周囲の様子や、あなたのしたことを具体的に書いてください。	自分が行った時には、ひどいヤケドやケガをした人がたくさん収容されていた。その人達に薬をつけて包帯を巻いてあげたり、体をふいてあげたりした。		
15	2-(4)胎内被爆者の場合	被爆した母親の胎児だった人が書いてください。母親が被爆者健康手帳を取得していない場合は、イの手帳番号欄に「なし」と書いてください。			
	3 その他	その他、参考になることがあれば、書いてください。			
16	4 現在の家族状況	同居している人を書いてください。			



被爆証明書の記入上の注意点と記入例

項目		記入上の注意点	記入例
年月日		証明した日を書いてください。	
証明者に関する事	原子爆弾が落ちた時いた場所	当時の市町村名などで、できるだけ詳しく書いてください。	〇〇町の自宅内
申請者に関する事	申請者氏名	旧姓ではなく、現在の氏名を書いてください。	
	申請者との関係について	「友人」「隣人」だけでなく、具体的に書いてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島〇〇女学校時代の同級生で、家も近所でありよく知っている。</li> <li>・ 疎開される前、家が隣で日頃から家族ぐるみの付き合いをしていたのでよく知っている。</li> <li>・ 家が近所で、同じ国防婦人会だったのでよく知っている。</li> </ul>
	申請者の被爆事実について	申請者の被爆事実について、証明者がしていることを、「いつ」「どこで」「どんな時」「どうしたから」など、具体的に書いてください。	<p>(直接被爆の場合) 私が自宅の掃除をしている時に原爆が落ちた。あわてて外へ飛び出したら、申請者も子どもを連れて飛び出してきたので、一緒に大芝の竹やぶに行き、昼頃までそこで過ごした。</p> <p>(入市の場合) 8月7日昼頃、私が夫の行方を捜すため、国泰寺町の市役所の前を通りかかった時、後ろから呼び止められたので振り返ると申請者がいた。申請者は、学徒動員で不明となった息子さんを捜しているとのことだった。お互いに励まし合って、すぐ別れた。</p> <p>(救護等の場合) 8月6日夕方頃から、被災者が〇〇国民学校に収容されはじめ、国防婦人会長の〇〇さん指示で、8月7日朝から8月31日夕方まで毎日、救護に従事した。申請者とは、8月7日朝から8月9日夕方まで毎日、一緒に救護した。申請者がたくさんの人に薬をつけたり、体をふいたりしているのを見た。</p>

# 同意書

平成（西暦） 年 月 日

\_\_\_\_\_ 殿

居住地 \_\_\_\_\_

氏名（ふりがな） \_\_\_\_\_

㊤

（押印又はサイン）

生年月日 \_\_\_\_\_

私は、被爆者健康手帳の交付申請にあたり、私の被爆事実を確認するために  
必要があるときは、\_\_\_\_\_ 都道府県知事／市長が私及び私の親族について  
官公署及び関係機関に照会調査（戸籍謄本、学籍簿など）することに同意し  
ます。

申 立 書  
(代理申請用)

平成(西暦) 年 月 日

\_\_\_\_\_ 殿

居 住 地 \_\_\_\_\_

氏 名 (ふりがな) \_\_\_\_\_

④

(押印又はサイン)

生 年 月 日 \_\_\_\_\_

私は、在 \_\_\_\_\_ 大使館／総領事館に出向いて被爆者健康手帳に関する申請ができないことについて、次のとおり申立てます。

申立の内容 (詳しく記入してください。)

# 委任状

平成（西暦） 年 月 日

殿

委任者  
居住地

氏名（ふりがな）

印

（押印又はサイン）

生年月日

私は、下記受任者に、被爆者健康手帳交付申請に必要な書類の提出に関する一切の権限を委任します。

記

受任者  
居住地

氏名（ふりがな）

印

サイン